

# エチゼンシノブ

*Onychium japonicum* (Thunb.) Kuntze f. *echizenense* Yo.Saito et Y.Yoshimura  
イノモトソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

2001年に発見され、その後調査の結果、タチシノブの品種として2013年発表された。国内外に現在のところ、福井市西部のみが生育地であることがわかった。種保存のため県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 種の特徴

タチシノブに似たシダ類。常緑性一部冬枯れ。根茎は横走。栄養葉と孢子葉の二形。4～5回羽状複葉で広三角形、かたい革質、高さ6～36.5cm。裂片は長楕円形、円頭、偽包膜が先端部をおおう。葉柄の対葉身相対高1/4位。根茎と孢子で繁殖する。

## 分 布

福井市のみ。国内外では現在分布がみられない。

## 生育を脅かす要因

生育地が集落の用水路護岸であることから改修のおそれ。採取圧、道路工事。

参考文献 齋藤芳夫・吉村洋子（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																		○

# オクタマシダ

*Asplenium pseudowilfordii* Tagawa  
チャセンシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

現在県内で知られている生育地は1か所のみである。

## 分 布

全国分布は本州～九州。県内分布は嶺南地方。

## 種の特徴

常緑性のシダ類。葉の高さ30cm前後、2～3回羽状で切れこみが少なく、葉身の幅は平行的である。山地林下の岩上や樹幹に着生する。

## 生育を脅かす要因

産地局限、森林伐採。

参考文献 中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
		○																

# イワトラノオ

*Asplenium tenuicaule* Hayata  
チャセンシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内の確認地は3か所あるが、1か所は工事で絶滅し、あと2か所のみとなった。

## 分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は大野市。

## 種の特徴

山地のコケの生えている岩に着生する。トラノオシダに似るが、葉柄の色が緑色で葉の形は孢子葉も栄養葉も同じである。このことからトラノオシダと区別できる。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1981）、中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○